

府内におけるネギ黒腐菌核病の発生解明と薬剤防除体系の開発

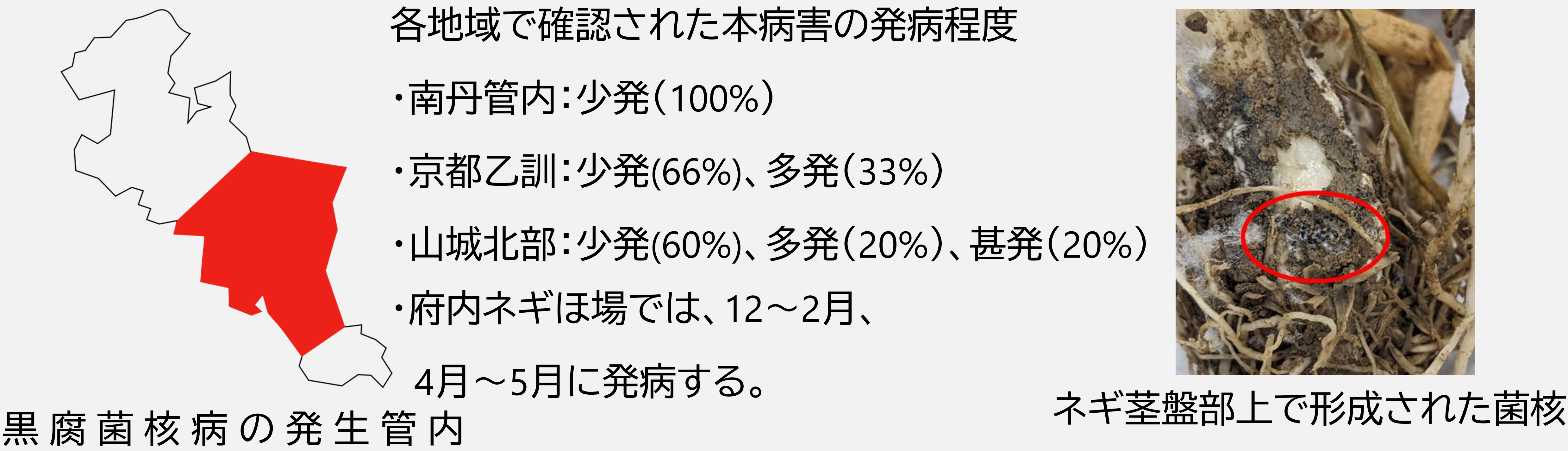
生物資源研究センター

問い合わせ先:生物資源研究センター応用研究部 0774-93-3527

- 主な成果
- 南丹管内から山城北部で黒腐菌核病の発生を確認し、発生ほ場の65%は少発
 - は種床、育苗床および本ぽでの土壌消毒が黒腐菌核病に対して有効

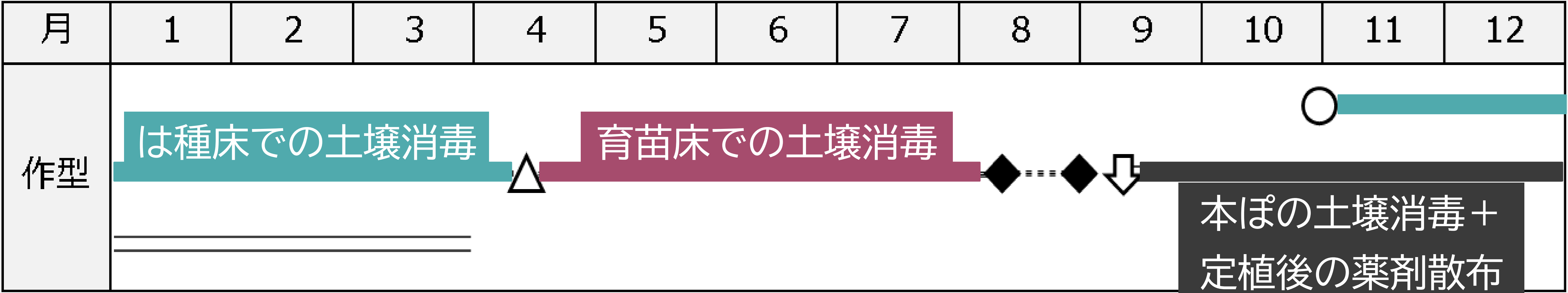
成果の内容

- 府内における発生実態について



- は種床、育苗床および本ぽでの土壌消毒(3回処理)と定植後の薬剤散布により黒腐菌核病の発病が抑制される。

干しネギ栽培における本病害の対策



○ 播種 △ 仮植 ◆...◆ 干し ⇩ 定植

土壌消毒はダゾメット粉粒剤(30kg/10a)を使用した。

定植後の薬剤散布はピラジフルミド水和剤(2000倍)を使用した。

期待される波及効果

干しネギ栽培において、は種床、育苗床および本ぽで土壌消毒(3回)すると、黒腐菌核病の発生を予防し、可販株率の増加が期待される。